



2022年度（2023年3月期） 決算説明会

2023年5月16日

東証プライム 4559

ゼリア新薬工業株式会社
代表取締役社長 伊部 充弘

I. 2022年度連結業績

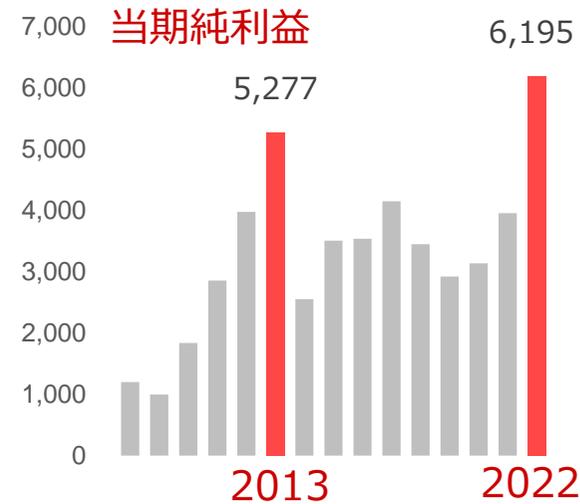
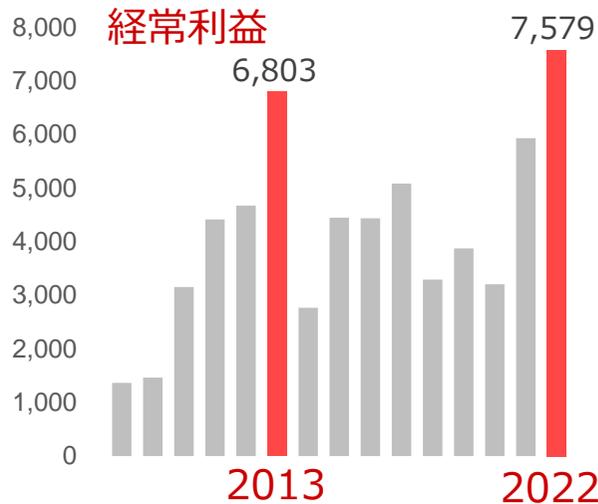
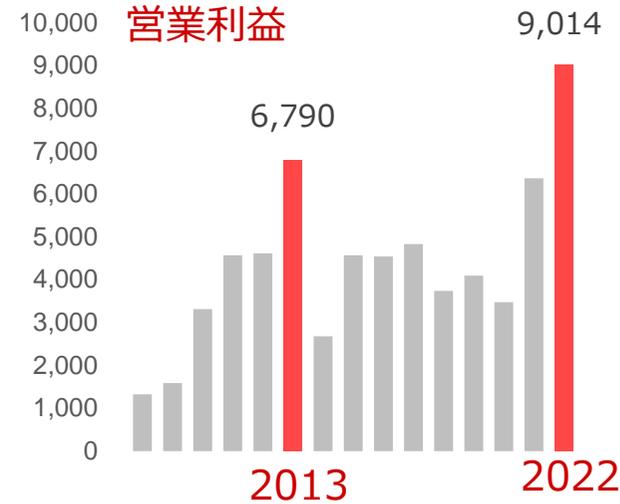
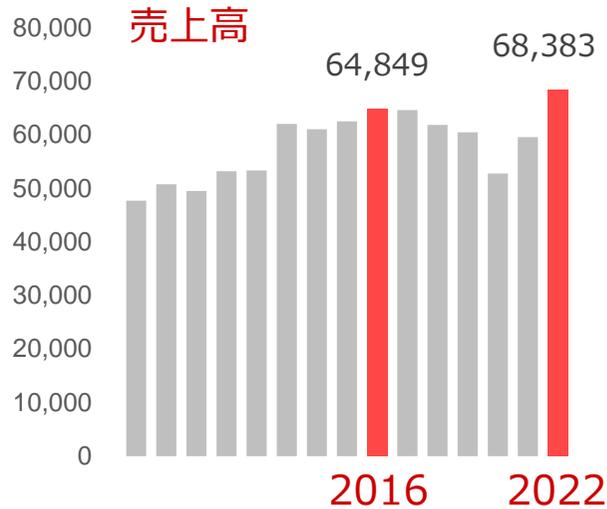
I-1 概要

I-2 医療用医薬品事業

I-3 コンシューマーヘルスケア事業

I-4 海外売上高

2022年度 売上高、利益ともに 過去最高業績 を更新



(単位：百万円)

売上高、利益水準は過去最高となり、営業利益率が大幅に向上

(百万円)	2021年度		2022年度		
	実績	売上比	実績	売上比	対前年伸率
売上高	59,532	100.0%	68,383	100.0%	14.9%
売上総利益	42,148	70.8%	49,488	72.4%	17.4%
販売管理費	35,782	60.1%	40,473	59.2%	13.1%
営業利益	6,366	10.7%	9,014	13.2%	41.6%
経常利益	5,935	10.0%	7,579	11.1%	27.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,961	6.7%	6,195	9.1%	56.4%
一株当り配当	35円		40円(予定)		

◆ディフィクリア、アサコールが増収に大きく貢献

	2021年度	2022年度	
	実績	実績	前同伸率
(単位：百万円)			
医療用医薬品事業	37,006	43,145	16.6%
アサコール	17,476	19,511	11.6%
ディフィクリア	5,211	8,345	60.2%
エントコート	4,480	5,688	27.0%
アコファイド	3,154	3,108	-1.4%
その他	6,684	6,491	-2.9%

対前年増減要因

	前年対比	増減要因	
		国内	海外
アサコール	+11.6%	競合品、薬価改定の影響により売上減	イギリス・北欧等主要市場が堅調に推移 1600mg錠が好調に推移
ディフィクリア	+60.2%		営業リソースの積極的投入が功を奏し 好調に推移
エントコート	+27.0%	薬価改定の影響を受けるも堅調に推移	カナダ、イタリア等の市場が好調に推移
アコファイド	-1.4%	前年は単独プロモーション開始に伴い、 期首に新パッケージ品の出荷が増加 医療機関への納入数量ベースは増加	
その他	-2.9%	フェインジェクト等が伸長するも、長期 収載品が薬価改定の影響により苦戦	

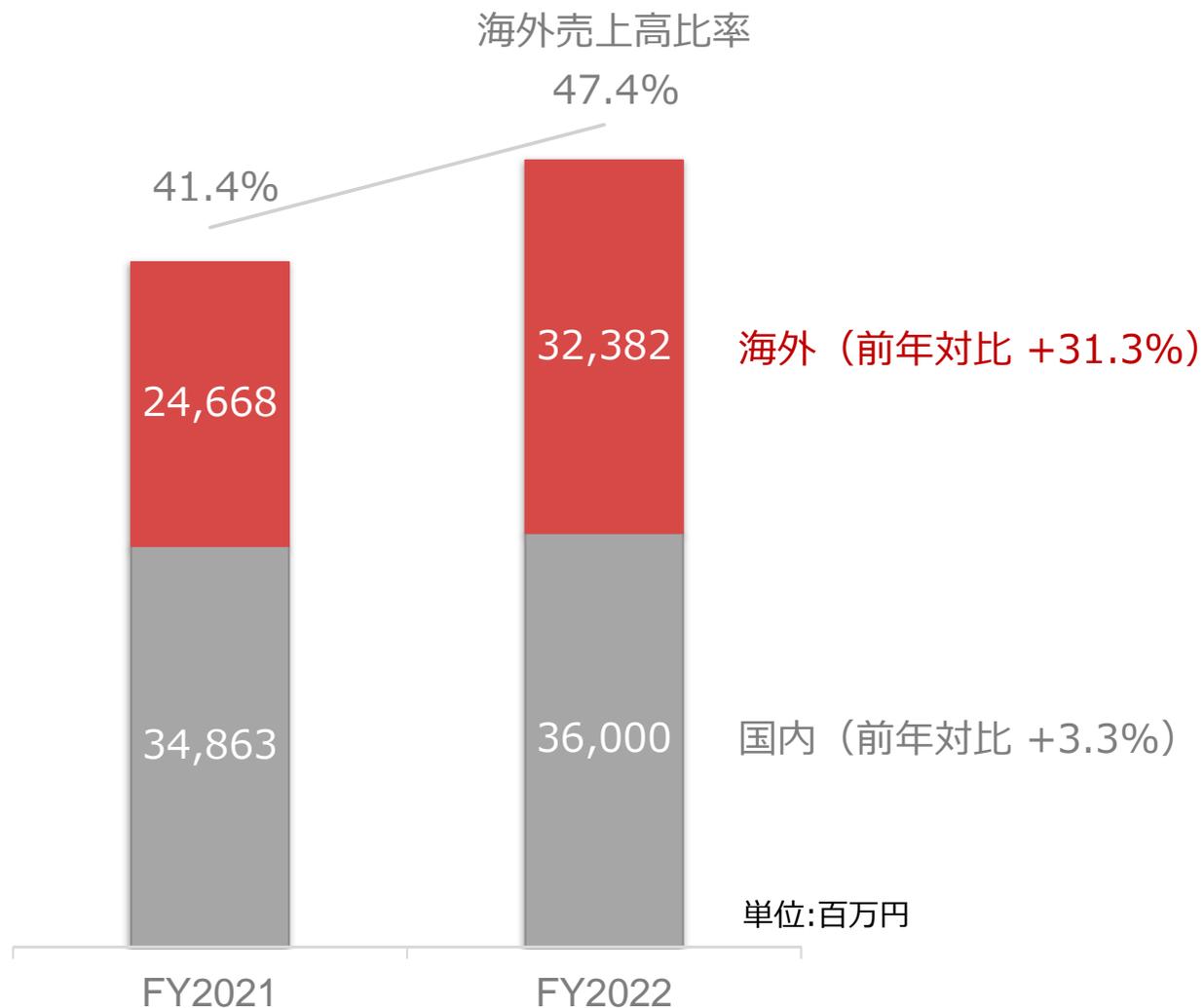
- ◆ヘパリーゼ群の売上がコロナ禍前の規模近くにまで回復
- ◆ウィズワン以外の品目についても前年対比売上が増加し、セグメント全体では前年対比12%増

	2021年度	2022年度	
	実績	実績	前同伸率
(単位：百万円)			
コンシューマーヘルスケア事業	22,370	25,085	12.1%
ヘパリーゼ群	7,770	9,848	26.7%
医薬品	4,345	4,769	9.8%
清涼飲料水 栄養補助食品	3,425	5,079	48.3%
コンドロイチン群	5,135	5,421	5.6%
ウィズワン群	1,359	1,266	-6.8%
その他	8,104	8,548	5.5%

対前年増減要因

		前年対比	増減要因
ヘパリーゼ群	医薬品	+9.8%	「疲労回復」「代謝改善・促進」などの製品特長の訴求により新規顧客を獲得
	清涼飲料水 栄養補助食品	+48.3%	COVID-19に関連する自粛の緩和、社会活動の回復により大幅に売上増
コンドロイチン群		+5.6%	積極的な広告宣伝投資などの効果により堅調に推移
ウィズワン群		-6.8%	競合品の影響を受ける状況下、新規顧客の獲得が進まず減少
その他		+5.5%	ハイゼリー顆粒EXなどの新製品の寄与

Asacol、Entocort、Dificlirが好調に推移し 海外売上高は大きく伸長



Ⅱ. 第11次中期経営計画

- Ⅱ-1 第10次中期経営計画 結果
- Ⅱ-2 第11次中期経営計画
 - Ⅱ-2-1 欧州事業
 - Ⅱ-2-2 アジア事業
 - Ⅱ-2-3 国内事業
- Ⅱ-3 2024年3月期 連結業績概要
- Ⅱ-4 開発パイプラインの状況

Zoom in on healthcare
健康へのニーズに焦点を

Excel in quality at every level
企業活動すべてにベスト・クオリティの追求を

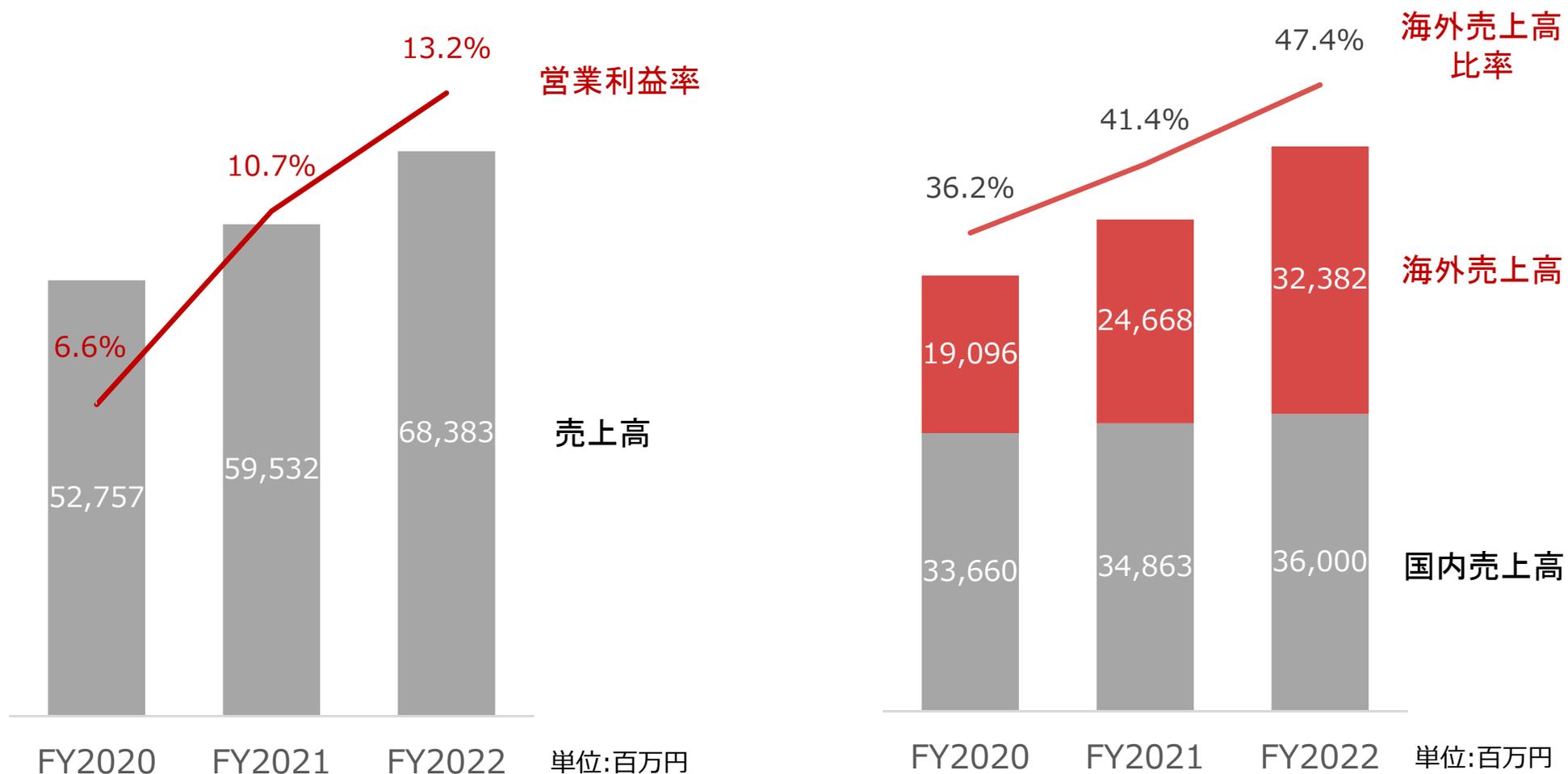
Reach out to the world
世界に目を向けて

Inspire confidence in management
信頼と期待に応える経営を

Achieve our potential
事業発展の基盤づくりを

売上高、利益水準は過去最高となり、営業利益率が大幅に向上

- 海外医療用医薬品事業が大きく成長する一方、国内医療用医薬品事業は苦戦
- コンシューマヘルスケア事業も新型コロナウイルス感染症拡大の影響から戻りきらず



第10次中期経営計画終了時の成績

海外事業

主に
医療用医薬品

⊕ アサコール

1600mg錠を筆頭に既存製剤も続伸

⊕ ディフィクリア

販売承継後大きく伸長

国内事業

医療用医薬品

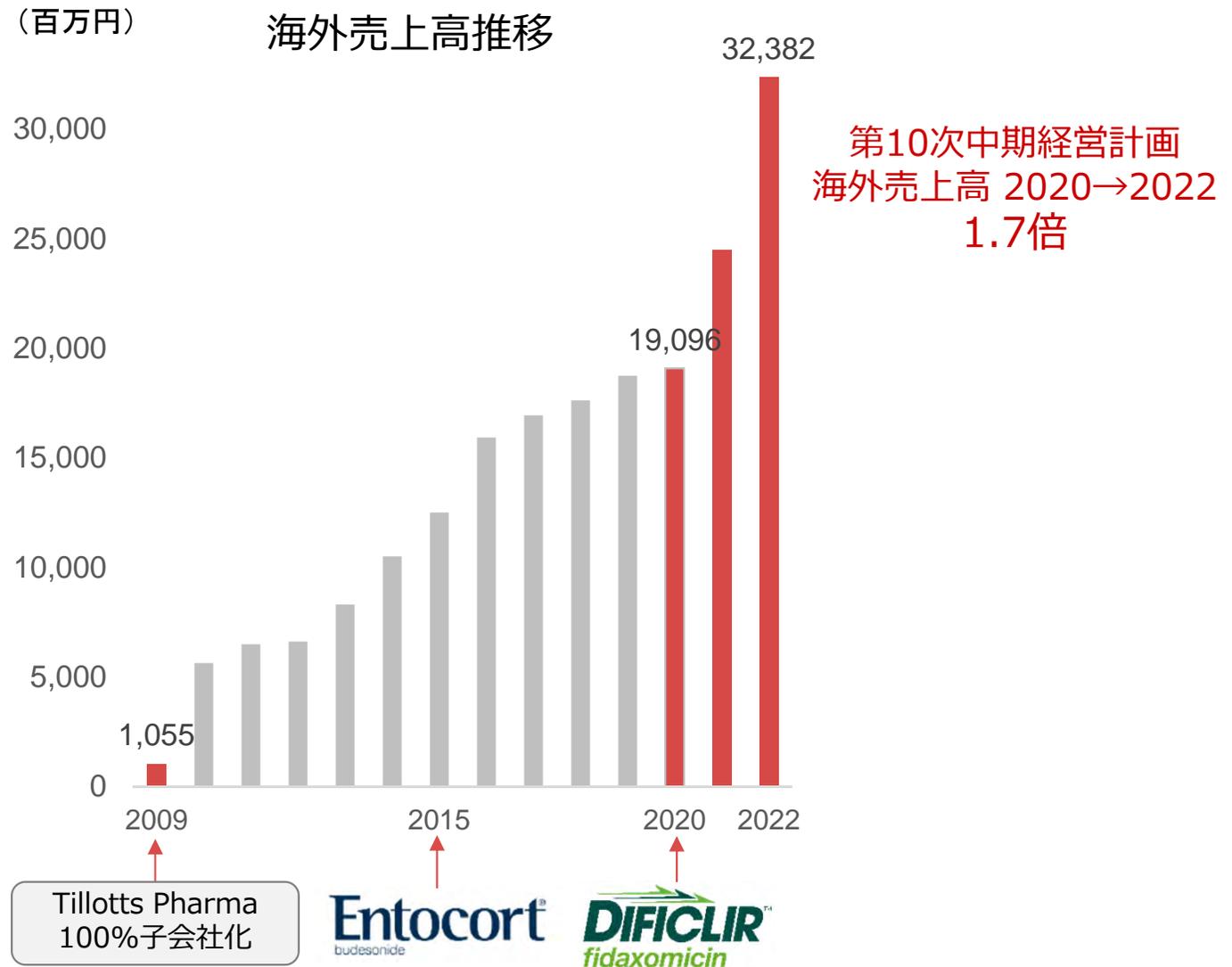
⊕ アサコール、アコファイド単独販売移行により収益性改善

⊖ 市場競合、薬価改定などの影響により苦戦

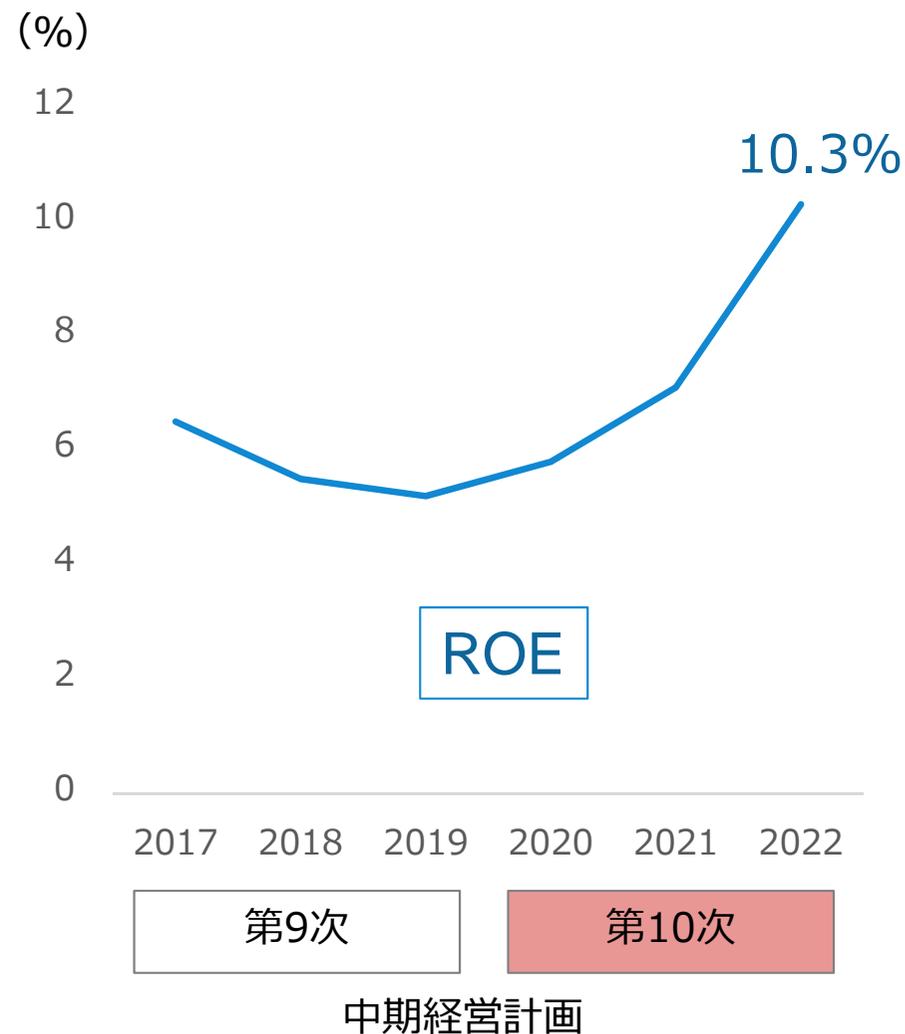
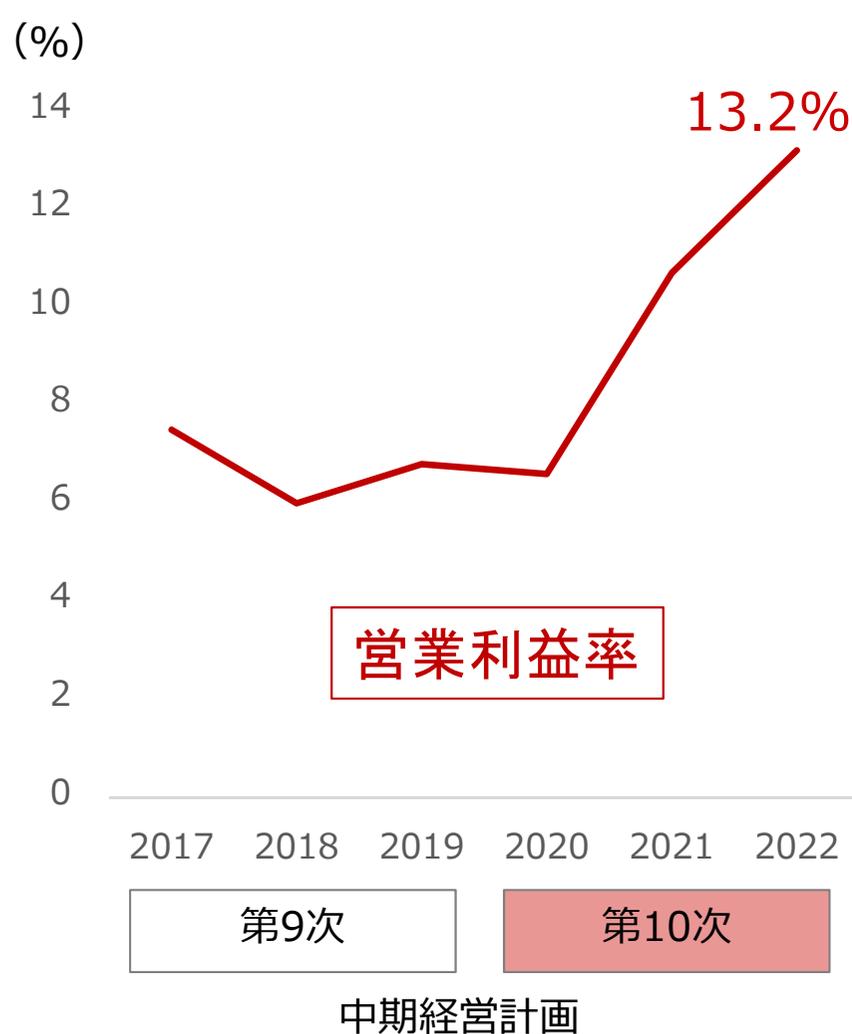
コンシューマ
ヘルスケア

⊖ 新型コロナウイルス感染症拡大による売上減から回復するも、完全な回復には至らず

海外売上高は13年間で30倍に成長



ROEが経営目標の10%を達成し、収益体質が大幅に改善



第10次中期経営計画

欧州事業が業績を牽引



第11次中期経営計画

欧州事業に加えて

アジア地域での事業展開に注力

経営目標

- 連結売上高 900億円
- 海外売上高比率 50%以上

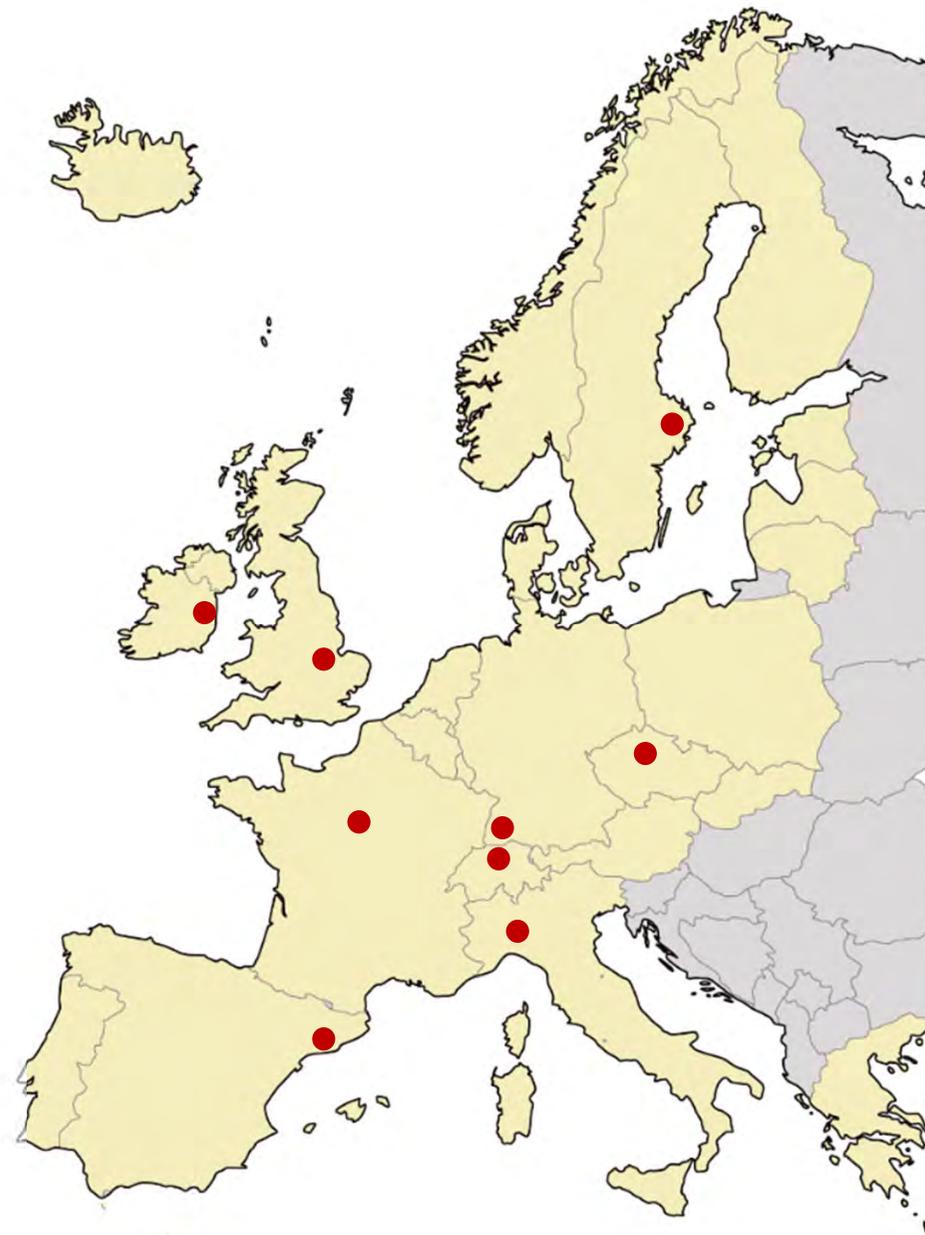
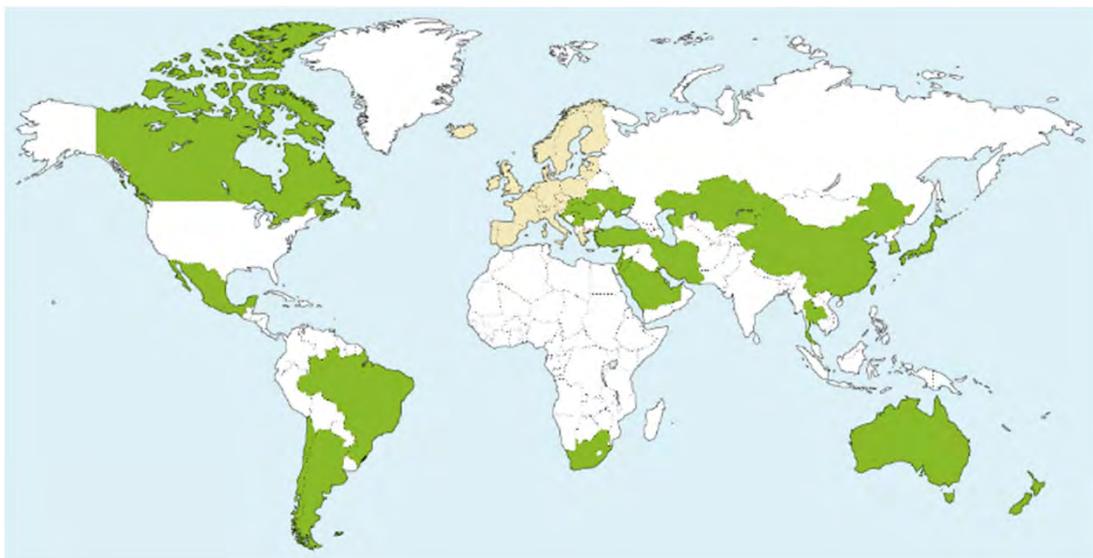
第11次中期経営計画 主要方針

好調な海外事業を中心にさらなる成長を目指す

- ① 欧州地域における継続的な市場育成
 - アサコール・ディフィクリア
- ② アジア地域の市場拡大
 - ゼリア新薬
アジア諸国への製品輸出拡大
 - ベトナムF.T.ファーマ
新工場建設、既存事業拡大、東南アジア近隣諸国への輸出

Tillotts Pharma

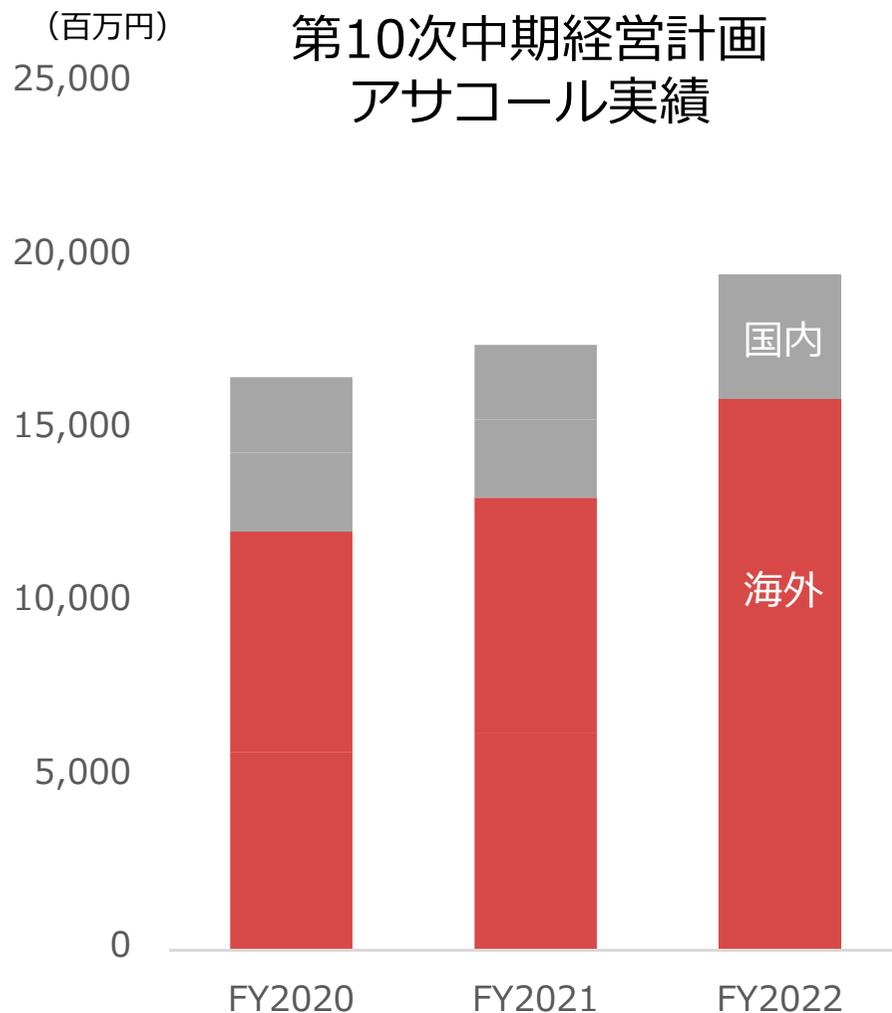
製品群を世界60カ国以上でグローバル展開
欧州においては子会社を通じた自販体制を確立



欧州販売ネットワーク

- Tillotts Pharma AG (スイス)
- Tillotts Pharma AB (スウェーデン)
- Tillotts Pharma Ltd. (アイルランド)
- Tillotts Pharma UK Ltd. (英国)
- Tillotts Pharma Czech s.r.o. (チェコ)
- Tillotts Pharma Spain S.L.U. (スペイン)
- Tillotts Pharma GmbH (ドイツ)
- Tillotts Pharma France SAS (フランス)
- Tillotts Pharma Italy srl (イタリア)

引き続き海外市場の成長を見込む

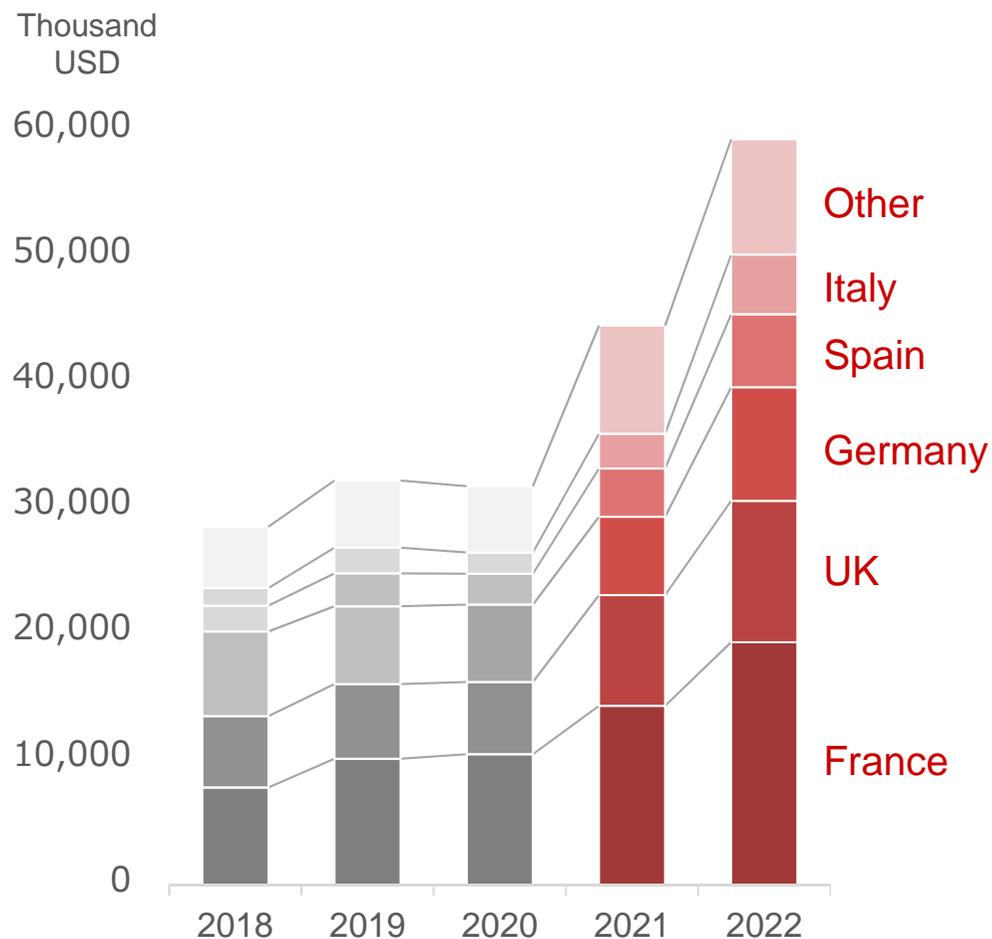


2023年度

- ◆ 1600mg錠
上市国の追加を予定
- ◆ アサコール海外市場
2022→2025 増収を見込む

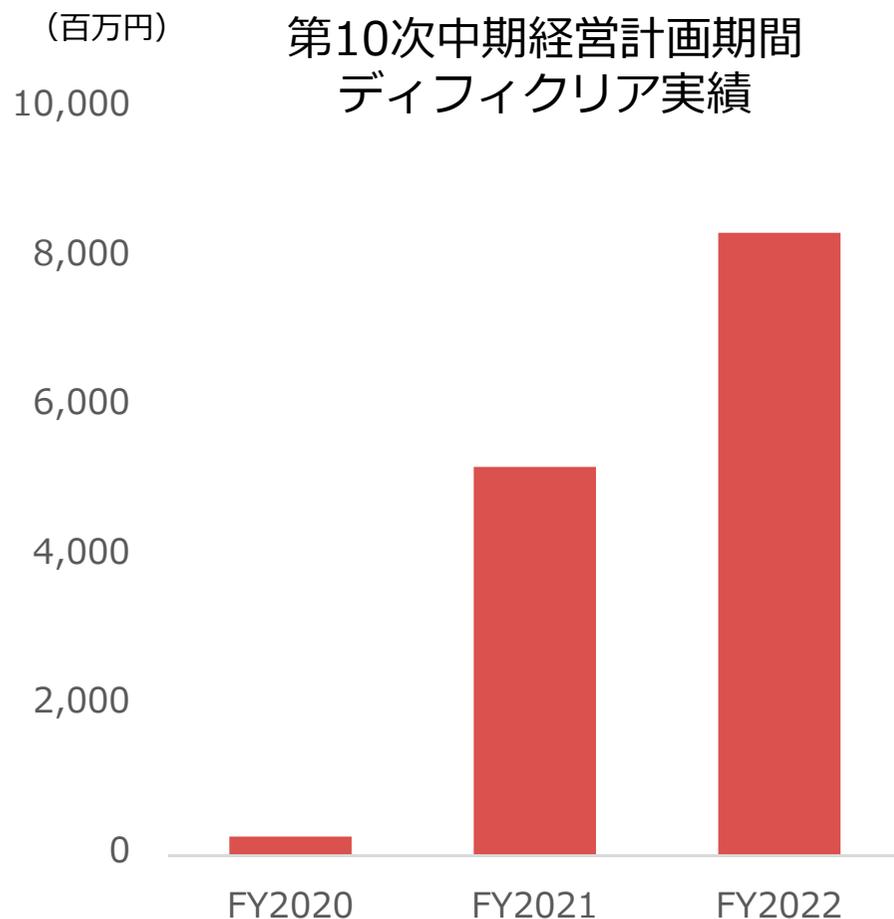
2021年 欧米の診療ガイドライン推奨で売上は急増

欧州ディフィクリア販売国における売上推移 (2018-2022)



出典：IQVIA Analytics Link
 2018-2022年データを元に自社集計
 (市場定義は自社による)
 無断転載禁止
 Copyright © 2023 IQVIA.

ガイドライン推奨のさらなる浸透を予想



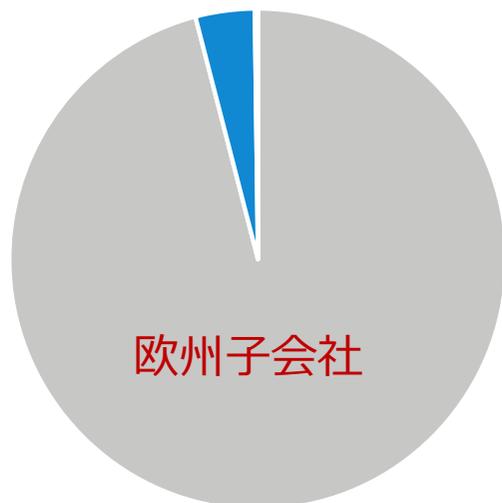
2020年11月：ディフィクリア承継

2023年度

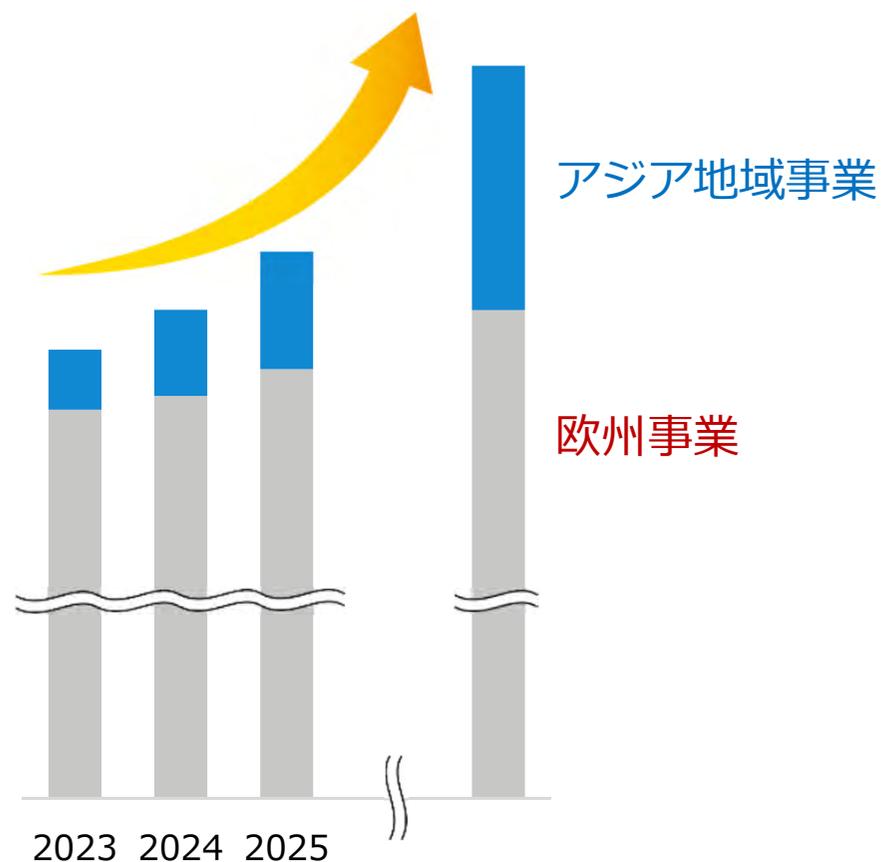
- ◆ スペイン、ドイツ、イタリアの売上増を想定
- ◆ 2022→2025 増収を見込む

アジア地域事業の拡大に注力

アジア地域事業
FTP・アジア地域輸出



2022年度 海外売上高の9割以上が欧州事業

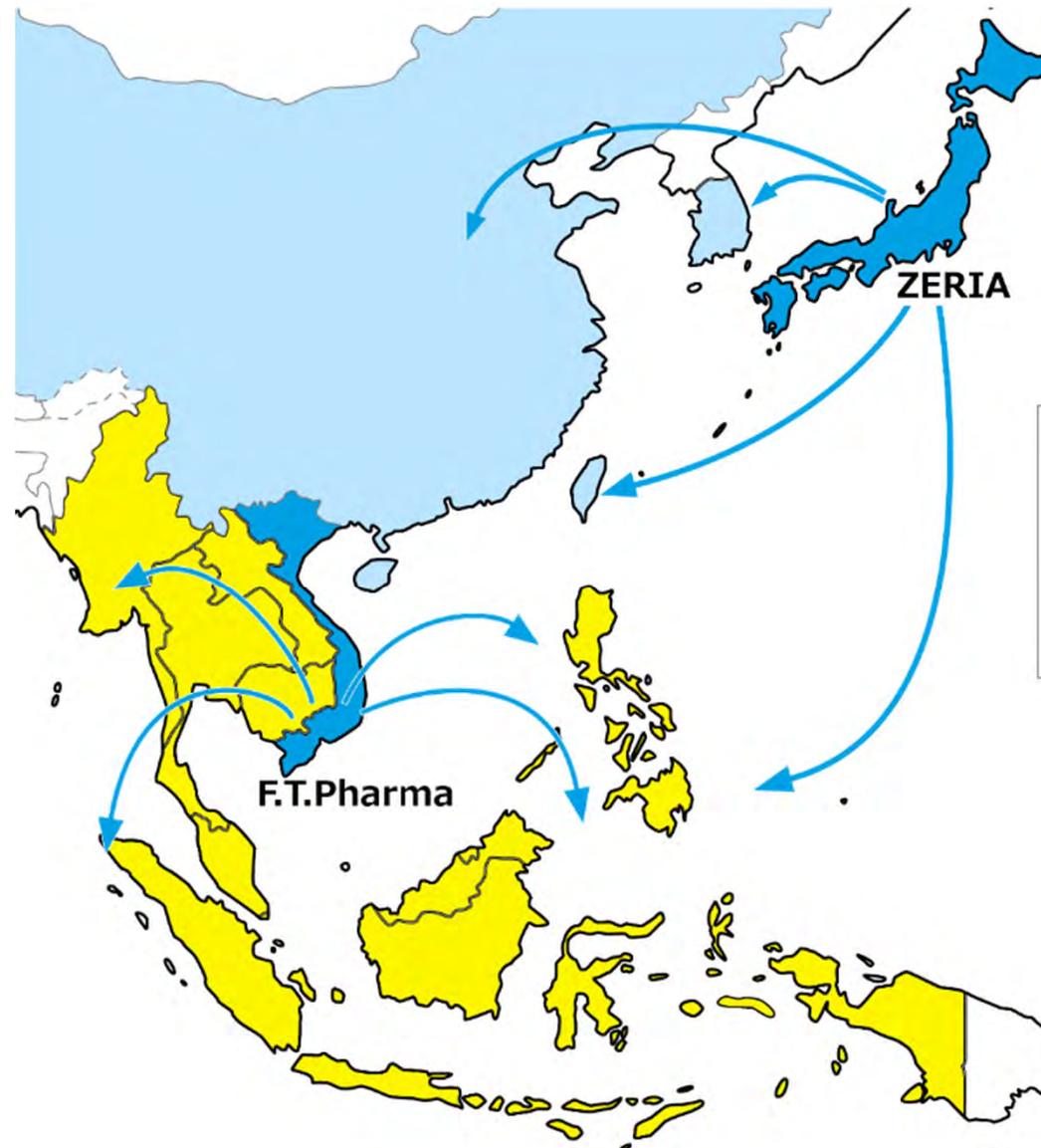


ベトナムFTファーマを拠点に、
東南アジア地域における
ゼリアグループのプレゼンスを向上させる

アジア地域の事業再構築と拡大に挑戦

ベトナム F.T.ファーマ

- 新工場建設
- 既存事業拡大
- ・北部への展開
- ・周辺諸国への輸出



ゼリア新薬

- アジア諸国への
ゼリア製品輸出拡大
- ・ OTC医薬品
- ・ 健康食品

Ⅱ-2-2 アジア事業 F.T.ファーマ 新工場建設



- 医療用医薬品事業

自社創薬品であるアコファイドをはじめ、フェインジェクト、ダフクリアや第11次中期経営計画期間内に上市が見込まれるZG-801（高カリウム血症治療剤）への営業リソースの積極的な投入により、国内医療用医薬品市場におけるプレゼンスを確保。

- コンシューマーヘルスケア事業

コンドロイチン群、ヘパリーゼ群などの主力製品群に加え、ローヤルゼリー群、西洋ハーブ群、化粧品群など多くの製品群において市場拡大を図る。

ローヤルゼリー、西洋ハーブの育成に注力



コンドロイチン群
関節炎・腰痛治療剤



医薬品ヘパリーゼ群
滋養強壮剤



ウィズワン群
便秘薬

OTC医薬品主力製品群



ハイゼリー顆粒EX
滋養強壮剤

ローヤルゼリー群



プレバリン群
皮膚用薬



ビュークリア群
点眼薬



マズデント群
薬用はみがき



イオナ化粧品

その他



プレフェミン
国内唯一の月経前症候群治療薬
2023年4月 第2類医薬品に移行



ベルフェミン
(足のむくみ改善薬)



コルペルミン
(IBS改善薬)



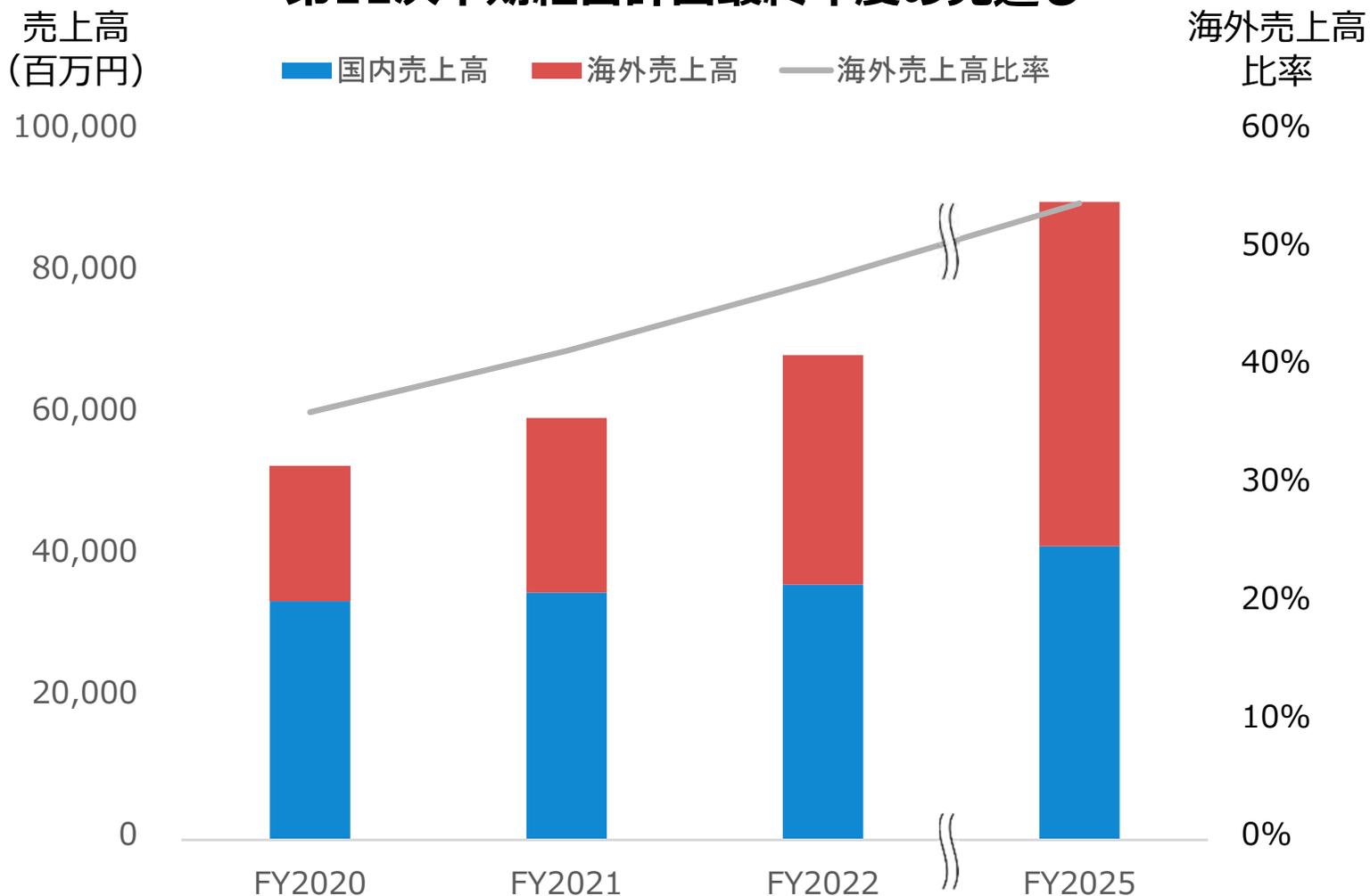
ヘパリーゼWプレミアム
清涼飲料水

西洋ハーブシリーズ

ヘパリーゼWシリーズ

海外事業の伸長により売上高900億円達成を目指す

第11次中期経営計画最終年度の見通し



第11次中期経営計画
最終年度予想

新中計初年度、さらなる増収増益を予想

(百万円)	2023年3月期	2024年3月期	
	実績	予想	対前年伸率
売上高	68,383	73,000	6.8%
営業利益	9,014	9,100	1.0%
経常利益	7,579	9,000	18.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,195	7,000	13.0%
一株当り配当	40円 (予定)	44円 (予想)	
研究開発費	3,456	4,500	30.2%
広告宣伝費	2,500	3,100	24.0%
海外売上高	32,382	35,000	8.1%

Ⅱ-4 開発パイプラインの状況

国内開発

開発番号／名称	開発会社・機関	適応症	Phase1	Phase2	Phase3	申請準備中	申請	承認
ZG-801	ゼリア	高カリウム血症	Progressing through Phase 1, 2, and 3					
Z-338 (アコチアミド)	ゼリア	小児 機能性ディスペプシア	Progressing through Phase 1 and 2					
ZG-802 (アコチアミド)	ゼリア	低活動膀胱	Progressing through Phase 1 and 2					
Z-338 (アコチアミド)	九州大学	食道胃接合部通過障害 (医師主導治験)	Progressing through Phase 1 and 2					

海外開発

開発番号／名称	開発会社・機関	適応症	Phase1	Phase2	Phase3	申請準備中	申請	承認
Z-338 (アコチアミド)	ゼリア	機能性ディスペプシア	Progressing through Phase 1, 2, and 3 in Europe					
Z-338 (アコチアミド)	Meiji Seika ファルマ	機能性ディスペプシア	Progressing through Phase 1, 2, and 3 in Thailand and Indonesia					
Z-338 (アコチアミド)	Faes Farma	機能性ディスペプシア	Progressing through Phase 1, 2, and 3 in Mexico, Honduras, Dominican Republic, Ecuador, and Chile			Progressing through Phase 1, 2, and 3 in Latin America 7 countries ※		

※コロンビア、ペルー、コスタリカ、グアテマラ、パナマ、ニカラグア、エルサルバドル

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問い合わせ先：広報部 西澤まで

Tel. 03-3661-1039

Fax. 03-3663-4203